

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内用地補償費)	億円
		通常砂防事業 かじかたに カジカ谷川	神戸市 北区 かみたにがみ 上谷上		約 2.3 (約 250万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
神戸市 北区 上谷上				H15年度	H18年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を施工して地域医療の拠点である真星病院と市民の交通の足である神戸電鉄有馬線を保全する。			・砂防堰堤工 2基 { 透過型堰堤 (H = 7.0m, L = 64.0m) 不透過型堰堤 (H = 7.0m, L = 38.0m)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		・カジカ谷川は土石流危険渓流である。 ・渓流の浸食が進み流域内も荒廃しているが、砂防設備は未設置である。 ・流域状況は急峻な地形で、脆弱な地質(第三紀層神戸有馬層)である。 ・保全対象: 人家 = 1戸、公共施設 = 神戸電鉄有馬線, (主)神戸三田線 災害弱者関連施設 = 真星病院(重要), 保育園			
地域の活性化		・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、(主)神戸三田線沿いの有効な利用促進が図れるようになる。 ・また、病院施設が保全されることによって、地域医療のより一層の充実に寄与する。			
快適性・ゆとり		・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、病院利用者や鉄道利用者へ安全で快適な生活空間を提供する。			
その他		・災害弱者関連施設対策五箇年計画に位置付けられている。			
(2)有効性・効率性 有効性		・真星病院利用者及び従事者、併設する保育園関係者の人命と施設の財産地域の主要交通網である鉄道及び県道が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・市等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・透過型堰堤の採用により、渓流の上下流の連続性を確保し、生態系の保全に努める。			
(4)優先性		・災害弱者関連施設対策五箇年計画に位置付けられている。 ・土石流の想定被害区域には地域医療の拠点である真星病院、地域の主要交通網である神戸電鉄有馬線と(主)神戸三田線がある。 ・流域状況は急峻な地形、脆弱な地質と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、早急な対策が必要である。			